

事業所名

放課後等デイサービスぱすてる新座教室

支援プログラム

作成日

2025年

3月

31日

法人(事業所)理念		<p>【企業理念】 スタッフの笑顔が子供とその家族の笑顔を作る。笑顔の連鎖を作り地域社会に貢献する</p> <p>【企業ビジョン】 夢と希望を持って福祉、介護職に携わり三方良しの精神で係る全ての人を幸せに</p>									
支援方針		<p>① 通所児童の円滑な発達支援と社会的自立の促進 ② 厚生労働省、こども家庭庁の掲げる5領域(「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」)を網羅し、質の高い支援の実現する ③ 各活動を通し、子どもたちの自尊心・自己肯定感・自己効用感の醸成を図る ④ 様々な地域交流機会を提供することでインクルージョンの推進を行う</p>									
営業時間		10	時	00	分から	19	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり
支援内容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみを整える、身の回りを清潔にする、基本的な病気の予防としての手洗いうがいなど、生活していく上で必要なことに気付き自分でできるように意識を向けていく。 ・きせかえ遊びやファッション関連の活動を通して、様々なシーンや季節を考えたその時に適した服を自分で選べるようにする。 ・熱中症対策、感染予防、防災訓練に必要な品物を選び出すレクなどから、身を守る術を身に付ける。 ・季節や祝日に関する題材を取り入れた活動や製作を行い、四季や行事に関心を持たせる。 									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・サーキット遊びの中に平均台や片足移動するコーナーを設け、体幹を鍛え筋力の強化と維持を図る。 ・ダンスや縄跳び、長縄を取り入れ、五感を充分に使いながらリズム感やバランス能力などを養う。 ・ランニング、鬼ごっこ、公園遊びなどで元気に体を動かかし、様々な運動に楽しく参加することで自信を育てる。 ・製作や工作を通して、指先の運動に働きかける。 									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・見たこと感じたことを好みに表現できるよう、マジックペンや色鉛筆、折り紙など自由に使える時間と場を設ける。 ・日常においての小さな「できた」ことを見逃さずほめ、成功体験とつなげる。積み重ねることで自信を持って学校生活を送れるようにする。 ・曜日や時間の感覚を養うために、すごろくにカレンダーを用いて遊ぶなどし、昨日や明日などの言い回しや正確な日にちの読み方を意識させる。 ・「長い短い」「大きい小さい」といった対義語や、単位を用いたクイズやゲーム遊びを行うことで身の回りの物に対する概念を広げる。 									
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・表情カードを用いて様々な感情の種類を知らせていくことで、その時の気持ちにふさわしい言葉を使うことができるようにしていく。また、相手の気持ちに気付けるようする。 ・ジェスチャーゲームなどを楽しむことで、言葉だけでなく、表情や身振り手振りを用いて意思のやり取りができるようにする。 ・チームでのミーティングや一日の振り返りを通して、自分の思いや体験したことを言葉で表現したり、分かりやすく相手に伝える場面を設ける。 ・ペアやチームでの対抗戦において、力を合わせたり意見を出し合ったり作戦を考える楽しさを味わえるような場を設定する。 									
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動の中に褒め合い、認め合い、助け合いをさりげなく取り入れ、子ども達一人一人の良さを伸ばし、子ども同士のつながりを深める。 ・活動で行きたい場所、したい事を話し合ったり投票を行うことで、人によって考え方の違いがあることに気付き、受け入れることができるようにしていく。 ・声の大きさや場所によっての振る舞いを考える〇×クイズなどから、公共の場での行動の仕方を理解してみんなで働きかける。 ・モルックなどのある遊びをチームで協力し、力を合わせる楽しさや勝負負けの受容などを体験していくようにする。 									
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の子育てに関する困りごとに耳を傾け、適切なアドバイスをしていくと共に明るい方向性を一緒に考えていく。 ・定期的な面談だけでなく、いつでも相談ができるように体制を整える。 ・必要に応じて関係機関と連携を取り、支援の輪を広げる。 						移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物の管理や、時間の管理が身に付くよう援助し、進級や進学への困り事を減らす。 ・土曜日の学習支援にて、苦手な課題の把握と解決を目的とし、学力の底上げをすることで次に向けての自信を身に付けていく。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や相談支援事業所など、本人と家族を取り巻く関係機関と積極的に関わり、情報を共有する。 ・担当者会議や子ども部会に参加し、支援を活性化するつながりを築く。 ・地域の公共施設(児童館、公園など)に積極的に行き、子どもたちが地域社会と関わる機会を提供する。 ・地域のお祭りやイベントに参加し、子どもが地域社会の一員としての意識を育む。 						職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回の職員研修や、県が実施する研修に積極的に参加し、専門知識や支援スキルを向上させる。 ・放課後等デイサービスに関連する資格の取得を支援し、専門性を高める。 ・定期的に自己評価や振り返りを行い、職員一人一人が自身のスキルや課題を把握し、支援に反映させる。 			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィンパーティー ・クリスマス会 ・三事業所合同モルック大会 ・毎月のイベントでの外出(博物館、科学館、工場見学、公園など) 										